

生活科の実践

旭川市

昔を振り返ることで、支えてくれた人に気付く！

生活科

2年

大きくなったね

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



内容（2）（9）に関連する学習です。今回の改訂では、「自分自身の成長を振り返り」という文言が加わりました。そこで、小さい頃のようすを振り返るだけでなく、今「自分でできるようになったこと」を実感できることが大切になると考え方を構成しました。「小さな世界」という共通体験から、幼い頃の自分と、今の自分とを比べ成長に気付いていきます。

学習活動の流れ（16時間）

クイズをしながら赤ちゃんのころの写真を見ることで、自分の小さかったころに興味をもたせていきます。

タイムドアで演出された「小さな世界」では、様々な「もの」や「こと」を関心深く体験させ、自分を調べていく意欲をもたせます。

両親や祖父母、産婦人科や幼稚園・保育園の先生といった、お世話になった人に招待状を書きます。自分の成長に自信を持たせるかかわりが大切です。

自分のことを調べよう

写真を見て昔の自分を思い出そう（1）

- ・自分の写真はどれだろう？
- ・みんなかわいいね

タイムドアを開けて、「小さな世界」へ行こう（2）

- ・僕が小さいころ使ったぬいぐるみがあるよ
- ・赤ちゃんの服ってちいさいなあ

小さいころと今の自分を調べ、発表会をしよう（7）

- ・保育園の先生と写ったお気に入りの写真だ
- ・夜泣きがひどく大変だったんだって
- ・今では簡単にできるのにね
- ・こんなふうに大きくなったんだ
- ・いろいろなことができるようになったよ
- ・みんな色々な人にお世話になったんだね

お世話になった人にお礼をしよう

お世話になった人をパーティーに招待しよう（4）

- ・手作りの招待状を送りたいな
- ・できるようになったことを見てもらおう
- ・招待したことを喜んでくれてよかったです

子どもたちが自分の成長を感じる瞬間はそう多くはないはずです。

自分への気付きの質を高めていくために、「もの」「こと」そして「ひと」にかかわる場に演出をして、意欲を持続させていきました。



そっとしないとね

教材・活動の Point!



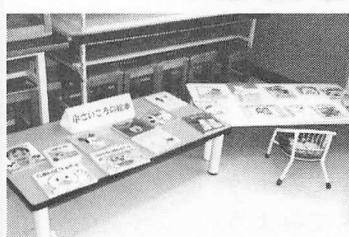
1. 赤ちゃんの頃の写真、誰だか分かる？

全員の「赤ちゃんのころ」の写真を掲示し、「自分の写真がどれか当ててごらん」と投げかけると、すぐさま写真に駆け寄り、自分の写真を探します。すぐに分かる子もいれば、友達の写真を選んでしまう子もいて、活動への意欲が高まりました。



2. タイムドアを開けて小さな世界へ

幼いころに興味をもった子どもたちに「小さな世界」を準備しました。そこには、子どもたちが昔使っていた「もの」や幼い頃のエピソードがあふれています。子どもの背丈より低いドアを設置し、「タイムドア」というドアをくぐらせて行くようにしました。小さな仕掛けが、子どもの心をくすぐります。



自分の成長にはたくさんの人々がかかわっていることを知った子どもたちは、「何かお礼がしたい」と考えます。企画や運営を子どもたちの手で行い、手作りの招待状を送ってお世話になった人たちを招待します。会の最後にお世話になった人たちからの言葉を聞いて、自分の成長にさらに自信がもてるようになります。